

2026年6月15日

各位

THE WHY HOW DO COMPANY 株式会社
 代表取締役社長 亀田 信吾
 (コード番号：3823 東証スタンダード)
 問合せ先：管理本部総務部長 副島 博
 電話番号：(03)4405-5460

連結業績の業績予想との差異に関するお知らせ

2026年5月26日に公表した業績予想と、本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記のとおり、お知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績値との差異について

2026年4月期連結業績予想と実績値との差異（2025年9月1日～2026年4月30日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	調整後 営業利益	調整後 EBITDA	1株当たり当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	2,331	△473	—	—	△19	18	—
実績値 (B)	2,332	△502	△870	△902	△26	27	△6.90
増減額 (B-A)	1	△29	—	—	△7	9	
増減率 (%)	0.0	—	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2025年8月期)	1,751	△72	△786	△69	—	—	△0.73

※1 調整後営業利益は、営業利益にのれん及び無形資産の償却費及びM&A関連費用を戻し入れて算出しております。調整後 EBITDA は、営業利益に減価償却費、引当金繰入額、他勘定受入高、のれん及び無形資産の償却費並びに M&A 関連費用を戻し入れて算出しております。なお、前期実績の調整後営業利益及び調整後 EBITDA は算出していないため、表示しておりません。

※2 2026年5月26日公表の業績予想においては、売上高、営業利益、調整後営業利益及び調整後 EBITDA のみを公表しているため、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益及び1株当たり当期純利益に係る予想値との差異は記載しておりません。

2. 差異の理由

連結業績の売上高につきましては、概ね予想どおりとなりました。なお、前期にM&Aにより取得した2社に加え、当期に取得した株式会社スティルアン、株式会社グッドマン、飯山土建株式会社及び株式会社コーウエルの4社が当社グループに加わったこと等により、決算期変更に伴う8ヶ月の変則決算ながら、売上高は

前期実績を 581 百万円上回りました。営業利益につきましては、一過性の費用であるM&A関連費用や決算処理に伴う貸倒引当金繰入額等の販売費及び一般管理費計上額が想定を上回ったこと等により、予想を 29 百万円下回ることになりました。また、業績予想において公表していなかった経常利益につきましては、2025 年 3 月まで当社の子会社であった株式会社宇部整環リサイクルセンターに対する貸付金債権の譲渡に伴うもの等の貸倒引当金繰入額 343 百万円を営業外費用に計上したこと等により、経常損失が 870 百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、特別利益として固定資産売却益 42 百万円及び保険解約返戻金 18 百万円を、特別損失として民事再生関連費用 53 百万円及び減損損失 6 百万円等を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純損失は 902 百万円となりました。なお、一過性のM&A関連費用及びノンキャッシュ費用（減価償却・のれん償却・無形償却・引当金等）を戻し入れた調整後 EBITDA は 27 百万円の黒字となり、事業の実力ベースでは黒字を確保しております。

以 上